



保険の先へ、挑む。

SOMPOホールディングス

SOMPO認知症サポートプログラムの展開

~認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会を~

2019年8月7日

SOMPOホールディングス

SOMPOホールディングスについて

SOMPOホールディングスは、以下の4つの事業を中心にお客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスのご提供を通じて社会に貢献する。



SOMPOホールディングスとは 2/2

グループ全体の売り上げは約3.6兆円、従業員数は約8.0万人規模。

売上高

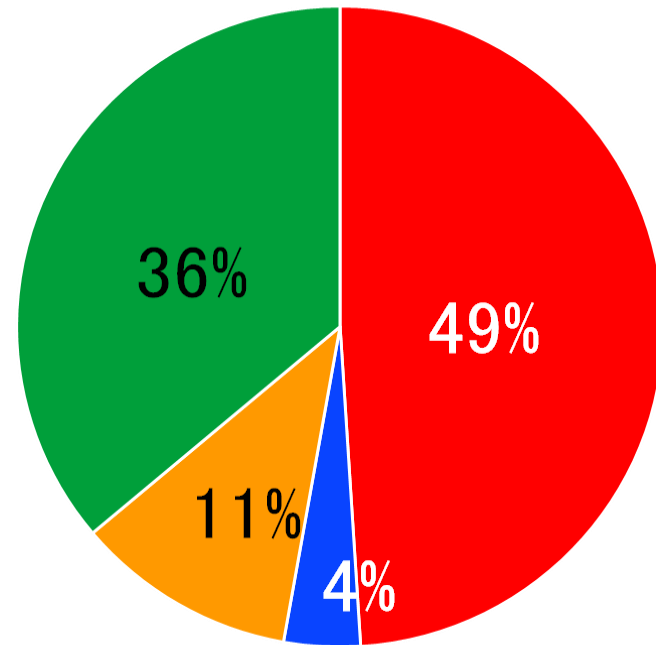
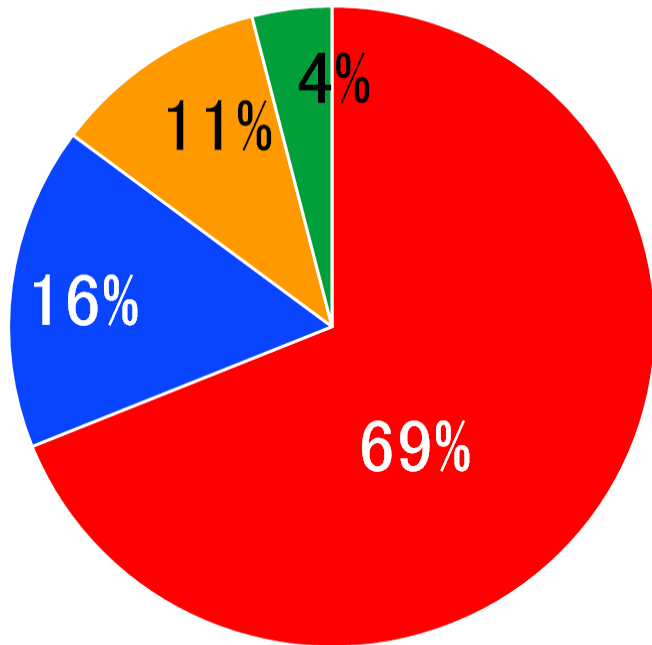
約3.6兆円

(2019年3月期)

従業員数

約8.0万人

(2018年3月末現在)



国内損保

海外保険

国内生保

介護・ヘルスケア

2015年度より、介護事業に本格参入し、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現を目指している。

なぜ介護事業なのか

SOMPOホールディングス 経営理念



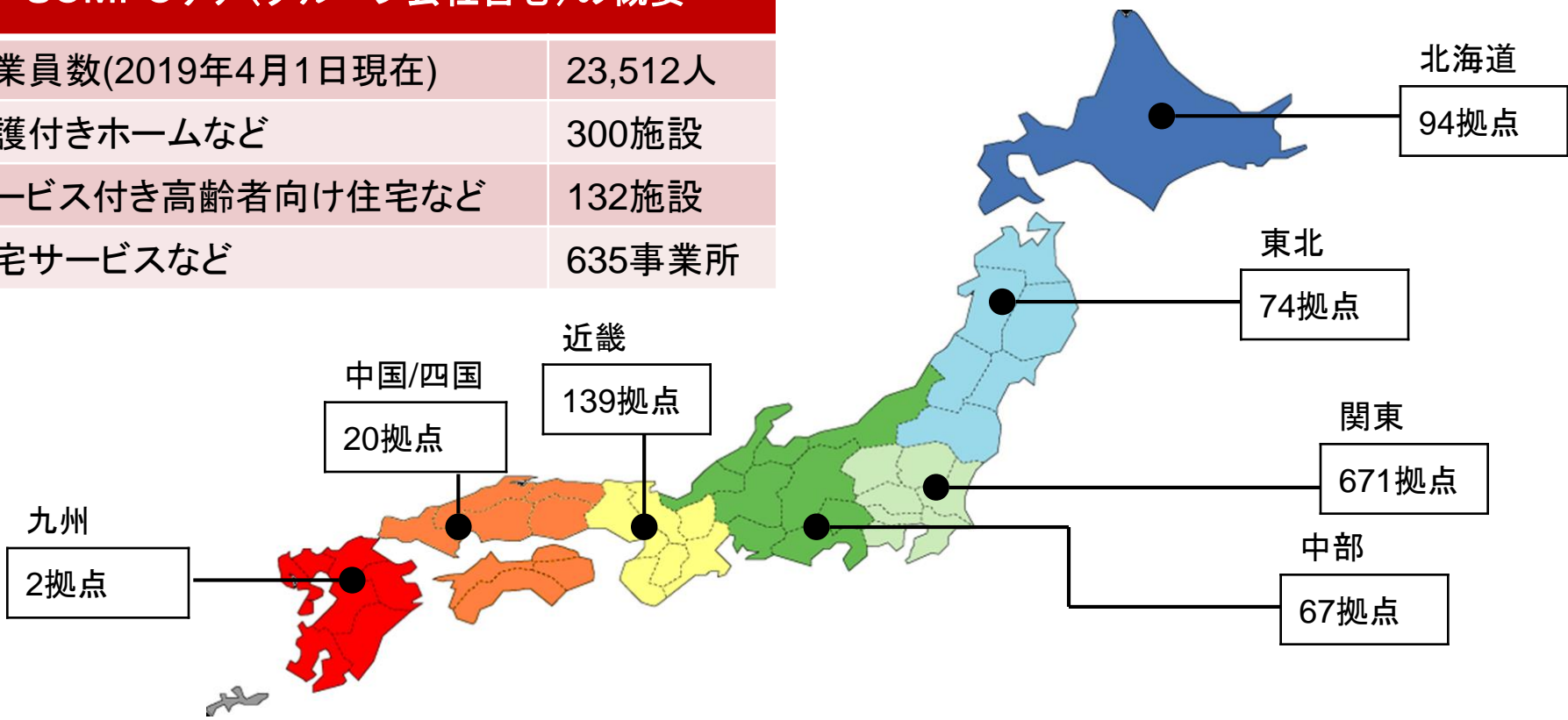
- ✓ 「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供する」という経営理念に合致
- ✓ 超高齢社会の進展に伴い、介護に対するニーズは今後も拡大
- ✓ 超高齢社会が抱える、社会的課題の解決に貢献

SOMPOケアの概要

幅広く拠点を展開し、在宅から施設までフルラインの介護サービスを地域ごとにワンストップでご提供が可能。

SOMPOケア(グループ会社含む)の概要

従業員数(2019年4月1日現在)	23,512人
介護付きホームなど	300施設
サービス付き高齢者向け住宅など	132施設
在宅サービスなど	635事業所



認知症サポートプログラム

SOMPOホールディングスがSOMPO認知症サポートプログラムによって
目指す姿を表現したテレビCMを展開し、各種広告賞を受賞。
キャッチフレーズ：『認知症になったら終わり。そんな偏見こそ、終わりにしたい。』



認知症を発症してから80歳になってレコードデビューを果たしたテディ・マクダーモットさん。
彼は家族の支えのもと、歌うことで自分らしさを取り戻した。

動画サイトで4,000万回以上再生されて世界中で話題となった認知症の父と子の実際の映像を通して、SOMPOホールディングスグループが「SOMPO認知症サポートプログラム」によって目指す姿を表現。

『その人らしく生きる。』というCMコンセプト等、社会課題に挑む姿勢等が認められ、「第57回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」グランプリ、「第56回ギャラクシー賞」選奨、「第72回広告電通賞」金賞を受賞。

アルツハイマーデーに合わせて、損保ジャパン日本興亜本社ビルをオレンジ色にライトアップ(2017年、2018年)



認知症高齢者数の増加、介護人材の不足等の社会的課題の解決に貢献するため、SOMPO認知症サポートプログラムを2018年7月より始動

目指すのは

「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会を」

認知症の発症や進行を遅らせるために
MCI(軽度認知障害)の早期発見と認知機能低下を予防する取組みが浸透している社会

認知症に対する正しい知識やケア技能の向上により、
介護者の負担が軽減され、認知症になっても自分らしく安心して暮らせる社会

国内最大規模の保険事業及び介護事業を持つ当社グループの特徴を活かし、早期発見も含め幅広いソリューションをご提供。

- 業界初となるMCI状態で保険金をお支払いし、MCI早期発見に対するインセンティブを提供
- 認知症となった場合にも保険金をお支払い

①保険

②MCI早期発見

③認知機能低下予防

④認知症ケア

- 「認知症になってもその人らしく生きられる」ための介護関連サービスを提供

- 保険加入者に対する認知機能のチェックツール提供
(注) 診断ツールではない

- 認知機能低下予防プログラムの提供

(※)①～③の機能により、認知症の発症を遅らせることにチャレンジ。

4つの機能が互いに影響しながら、相互に高め進化していく

非認知症の方から、認知症の方まで、それぞれのステージに合ったサービスをグループ横断でご提供。

健常者

早期発見のために
定期的なチェック・受診

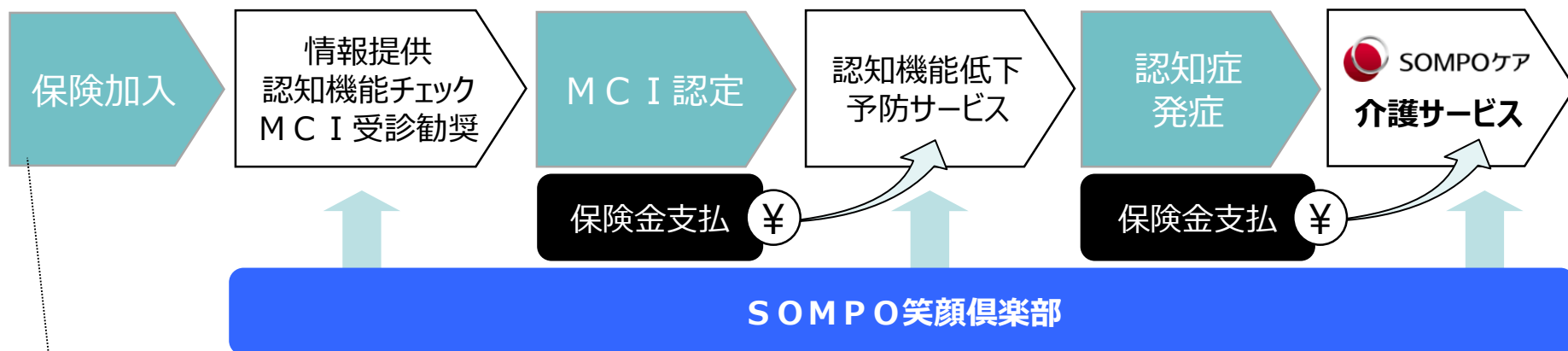
M C I

(軽度認知障害：認知症の手前の状態)

踏みとどまることのできる段階
進行させないための取組みが大切

認知症発症

自分らしくある生活は十分可能
ご本人もご家族も
笑顔でいられるよう支援



- 「リンククロス笑顔をまもる認知症保険」(引受保険会社: 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命(株))
MCIで保険金をお支払いし、それをトリガーとして重症化予防に資するサービスを提供するコンセプト。認知症になられた場合も保険金をお支払い。
- 「親子のちから」(引受保険会社: 損害保険ジャパン日本興亜(株))
親御様が引受保険会社が定める要介護状態に該当した場合に保険金をお支払い。子が負担する親介護費用等の補償と介護サービスを一体で提供し、親を介護しながら働く子の介護離職防止を支援。

認知症に関するプラットフォーム機能として、SOMPO笑顔倶楽部は、22社29サービスをサービスパートナーを通じてご提供。

認知機能の低下予防から介護までの情報・サービスを提供

知る

認知症に関する基礎知識・情報の提供

MCIや認知症に対する正しい知識の取得、早期発見に向けた行動を支援。

チェックする

認知機能チェックツールの提供

認知機能チェックツール(注)を提供し早期受診につなげることで、認知機能低下の早期発見に貢献。
(注)診断ツールではない。

ケア

介護関連サービス紹介

SOMPOケア(介護事業)をはじめとする介護関連サービスを提供、介護の不安・負担軽減に寄与。

動く

認知機能低下の予防サービス紹介

運動、生活習慣のサポートプログラムなど、ニーズに合わせた幅広いサービスを提供。

SOMPOが認知症予防から発症後の介護サービスまで一貫して提供できる体制を整備

ケア力強化の取組み 1/3～HECTアプローチ～

HECTアプローチは、認知症による行動障害に対する、SOMPOケア独自の
アプローチ法

①Health(健康)

8項目

(例)行動障害は薬の影響と関連している可能性があるか

②Environment(環境)

8項目

(例)ハッキリ見ることができる十分な明るさがあるか。あるいは暗すぎて認識できないことがあるか。

③Communication(伝達)

7項目

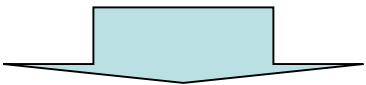
(例)言葉の後ろにある感情について、言葉以外の伝達手段で感じ取れているか。

④Task(作業)

6項目

(例)高齢者に多すぎる、あるいは少なすぎる選択肢が与えられていないか。

H
E
C
T



4つの項目から行動の理由を探り、アプローチする手法

ケア力強化の取組み 2/3～好事例の見える化～

全国から集めた、認知症ケアの好事例を「オータスクンカード」として見える化。全国の各事業所に配布し、品質の高いケア推進に貢献。



包丁の音や料理の香り

野菜を刻む包丁のトントントン・・・という音。漂う料理の香りを感じることで「食事の時間」を認識できるようになりました。
#認識を促す #いつもの手順 #なじみの環境
#音の記憶 #匂いの記憶

23



入浴の手ぬぐい

入浴時に身体を洗うのを嫌がるので、ナイロン製の洗身用のタオルから手ぬぐいに変えたら、身体が洗えるようになりました。
他例) 身を洗うものを自宅と一緒にする
(へちま、タオル、亀の子たわし等)
ポディソープから石鹸へ変える
#なじみのもの #心地良い道具 #Task 作業

22



リンスはお湯に溶かす

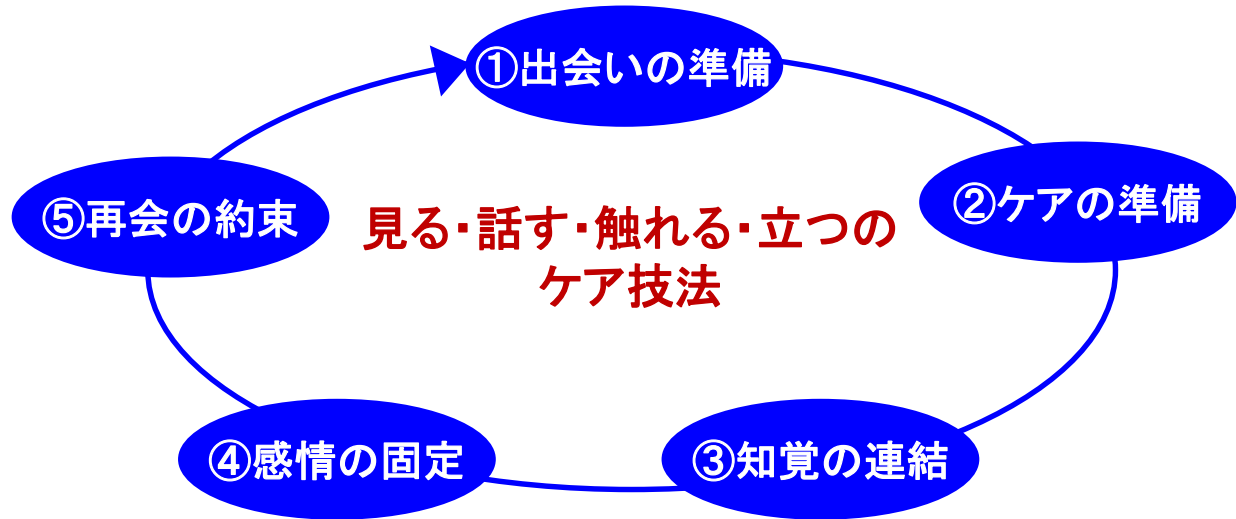
リンスをフロ桶に入れたので、何故かと思ったら、昔はこのように使っていたと教えてくれた。溶かしたリンス液を頭にかけるそうです。
#相手を理解する #本人の使い方 #Task 作業

21

現在では120以上の事例が収集できており、現場の困りごとの解決に貢献。

ケア力強化の取組み 3/3～ユマニチュード～

フランス発祥の、認知症の方に対するケア技法。「見る・話す・触れる・立つ」を基本とした、SOMPOケアの理念と同様に「その人らしさ」を追い求めたコミュニケーション技法



ユマニチュードケア実践事業所として、3施設で展開中。今後その効果を踏まえ、展開を検討していく。

認知症の方との共生の実現には、まずは正しい理解促進が必要という認識のもと、世界アルツハイマー月間を含め、様々な取組みを実施。

プロ野球ゲームスポンサー ~SOMPO認知症サポートデーの実施~

東京ドームの日本ハムファイターズ戦(9月12日)、京セラドームのオリックスバファローズ戦(9月21日)をフラッグ等でオレンジカラーに染め、認知症への理解を呼び掛け。

SOMPOオレンジの輪キャンペーン

InstagramとTwitterでオレンジカラーと自分「らしさ」をテーマとした画像投稿キャンペーンを実施し、SNS上で認知症への理解の輪を繋げ、投稿いただいた画像を新聞広告として掲載。



(イメージ画像)



正しい理解促進に向けた取組み2/2~SOMPOグループの主な取組み~

認知症の方との共生の実現には、まずは正しい理解促進が必要という認識のもと、世界アルツハイマー月間を含め、様々な取組みを実施。

認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解と対応によるお客さま対応品質向上を目指し、認知症サポーター数約1.5万人（グループ社員・代理店を含む）



認知症を考えるセミナー

国立長寿医療研究センターや認知症の人と家族の会、認知症の方のご協力を得て、毎年開催。



RUN伴

認知症の方も含め、樺をつなぎ日本を縦断する「RUN伴」に協賛・参加。



有識者からのアドバイスやご知見を活かし、認知症サポートプログラムを推進。

国立長寿医療研究センターとの
包括連携協定
(2017年～)

高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の実現へ貢献することを目的とした包括連携協定を締結

カロリンスカ研究所 キビペルト教授
とのアドバイザリー契約
(2019年～)

認知機能低下予防に向けた介入研究分野の第一人者であるカロリンスカ研究所のキビペルト教授とアドバイザリー契約を締結。

認知症の人と家族の会との
意見交換
(2017年～)

認知症の方やそのご家族等を会員とする日本最大の団体である同会と定期的に意見交換を実施。





SOMPO
HOLDINGS

Innovation for Wellbeing